



夏休み到来！こどもの交通事故防止



学校の夏休み中は、日中にこどもが外出する機会が増えるため、交通事故に遭うリスクが高まります。こどもの命を守るため、ドライバーや保護者の方が気をつけるべきポイントを解説します。



夏休みになると

- ふだん学校がある時間帯や、いつも人通りが少ない道にもこどもが通行しています
- 観光地・レジャー施設・商業施設などの付近にこどもを連れた家族が多く訪れます



➡ **交通環境の変化に注意！**

歩行中のこどもの事故のうち、一番多いのは「飛び出し」

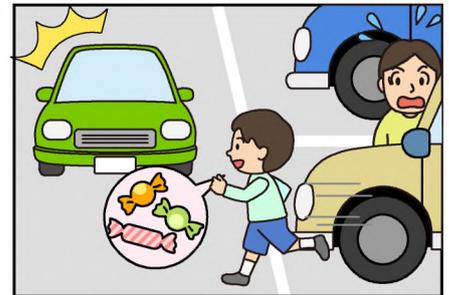
こどもは危険を予測する能力が未発達なことや、興味のあるものに注意を奪われてしまう傾向があるため、近づいてくる車に気づかずに道路に飛び出してしまうことがあります。



道路の反対側に家族や友達を見つけて突然走り出す



駐車している車両の影から安全確認せずに横断



車から降りた直後に店舗などへ走り出す

車を運転する方は

- こどもの急な飛び出しに備えて、減速しましょう

特に注意！

こどもだけで歩いているとき、住宅街の道路、店舗の付近や駐車場、駐車車両の横を通過するときなど

- こどもが横断しようとしていたら、停止して安全を確保しましょう
※ 横断歩道では、こどもに限らず横断者がいたら一時停止の義務があります



保護者の方は

- 横断するときは、遠回りでも横断歩道を利用することや、「止まって右・左をよく見る」「手を上げて渡る」ことを繰り返し伝えましょう
- 幼児は手をつなぐなど、一人歩きをさせないようにしましょう

